SAML での SSO の設定

Security Assertion Markup Language（SAML）は、当事者間で認証および承認の情報データを交換するための XML ベースのオープン標準のデータ形式です。

SAML には、次の 3 つの主要要素があります。

- **ユーザ**：サービス プロバイダ（Cisco Prime Service Catalog）へのログインを試行しているクライアント。
- **アイデンティティ プロバイダ（IDP）**：通常、ユーザがログインしているポータルであり、ユーザの ID に対する権限を保有します。ユーザのユーザ名、パスワード、および任意のグループ/属性の情報を保有しています。

（注） Prime Service Catalog 12.0 リリースのサポートでは、ユーザのログイン時に認証される IDP 接続は 1 つのみです。

- **サービス プロバイダ（SP）**：ユーザが使用を希望するアプリケーション。この場合、Cisco Prime Service Catalog です。

SAML は、Prime Service Catalog で実装されているため、Prime Service Catalog と統合するその他のアプリケーションは、認証の提供および IDP からのユーザ プロファイル情報のインポートを行う手段としてこれを使用できます。

注意 Prime Service Catalog では、LDAP と SSO ログイン用に設定された SAML の両方を設定することはできません。SAML SSO を使用する場合は、LDAP ログイン イベントを手動で無効にする必要があります。そうしないと、不正確なログイン動作につながります。
LADP ログインを無効にするには、[管理（Administration）] > [ディレクトリ（Directories）] > [イベント（Events）] に進み、ログイン イベントについて [編集（Edit）] をクリックします。イベントのステータスを [無効（Disabled）] に変更し、[更新（Update）] をクリックします。

ログイン動作

SAML シングル サインオンを実装するということは、サインイン プロセスとユーザ認証が完全に Prime Service Catalog の外部で処理されることを意味します。Prime Service Catalog は、SAML を IDP に対する認証を安全に行うための手段として使用します。承認は、Prime Service Catalog によって提供されます。システムに SAML が設定されている場合、ユーザはまず、IDP に対する認証を行う必要があります。正常に認証されると、ユーザは Prime Service Catalog にインポートされます。ユーザが存在せず、PSC にリダイレクトされた場合、そのユーザは、有効な権限があり、IDP が正しく設定されている場合のみ、アクセス権を付与されます。ユーザ セッションは、同一のブラウザ上で維持されます。

ログアウト動作

ログアウト動作は、*newscale.properties* ファイルで行う **saml.enable.globalLogout** プロパティの設定によって異なります。SAML 設定のためのプロパティ (9-3 ページ) を参照してください。

デフォルトでは、グローバル ログアウトは有効になっています。この場合、ユーザが Prime Service Catalog の 1 つのインスタンスからログアウトすると、そのユーザは、同じブラウザ上の他のインスタンスからもログアウトされます。

グローバル ログアウトが無効化されている場合、ユーザが Prime Service Catalog または Prime Service Catalog と統合されている他のアプリケーションからログアウトすると、SAML は、その特定のアプリケーションからのみユーザをログアウトします。これは、ローカル ログアウトと呼ばれます。

次のテーブルは、同じブラウザ上の 2 つの SP にグローバル ログアウトが設定されている場合のさまざまなログアウト動作を説明します。ここで、SP1 と SP2 は、2 つの Prime Service Catalog インスタンスです。

使用例	SP1 でのグローバル ログアウト設定	SP2 でのグローバル ログアウト設定	ログアウト動作
1	[はい(True)]	[はい(True)]	いずれかの SP がログアウトされると、SP1 と SP2 の両方がログアウトされる。
2	[はい(True)]	いいえ(False)	• SP1 がログアウトされると、SP2 もログアウトされる。 • SP2 がログアウトされても、SP1 はログアウトされない。
3	いいえ(False)	[はい(True)]	• SP1 がログアウトされても、SP2 はログアウトされない。 • SP2 がログアウトされると、SP1 もログアウトされる。
4	いいえ(False)	いいえ(False)	SP1 と SP2 のいずれかがログアウトされると、他方の SP もログアウトされる。

SAML でのユーザ管理

SAML を有効にすると、すべてのユーザ管理および認証は、Prime Service Catalog の外部で処理されます。ただし、Prime Service Catalog の外部で行われた変更は、Prime Service Catalog に即時に同期されます。ユーザ情報は IDP に対する認証を初めて試行したときにインポートされます。それ以降は、ユーザ情報がその後の試行によって更新されることはなく、ユーザの更新もありません。ユーザに対する変更は、Person Lookup OOB、Authorization Delegate、Person Lookup Service Form のために LDAP が有効化され、Import Person イベントが設定されると同期されます。システムからユーザを削除すると、そのユーザは Prime Service Catalog にサインインできなくなります（ただし、そのアカウントは Prime Service Catalog 内に存続します）。

SAML 設定のためのプロパティ

次の表では、お使いのシステムに SAML を設定するための *newscale.properties* での設定を説明します。

プロパティ	説明
saml.lb.protocol	LB の場合、「http」または「https」に設定します。
saml.lb.hostname	公開される RC エンドポイントに設定します。 ループ バック アドレス（127.0.0.1 または localhost）ではないことを確認してください。LB またはリバース プロキシを使用する場合、公開されているエンドポイントの IP アドレスまたはドメイン名になります。
saml.lb.port	適切なポート番号に設定します。
saml.lb.config.includeServerPortInRequestURL	true または false に設定します。 *true* に設定すると、ポートは、SP と IDP の間での SAML でのの交信の際に要求/応答を検証するために使用されます。
saml.matadata.refreshInterval	メタデータを更新する時間の間隔を設定します。
saml.provider.trustCheck	すべてのプロバイダについて、署名の信頼性の検証を設定します。
saml.force.auth	セッションが有効な場合でもユーザが認証を行う必要があるかどうかを設定します。
saml.enable.global.logout	グローバル ログアウトを有効にするか無効にするかを設定します。デフォルトでは、true に設定されます。
saml.certificate.validation.config	証明書検証の設定を指定します。詳細については、SAML 証明書の検証の設定（9-4 ページ）を参照してください。

SAML 証明書の検証の設定

この項では、SAML 証明書の検証を設定する際に Prime Service Catalog で可能な SAML 証明書の検証の設定について説明します。

SAML 仕様では、メッセージを受信する際にはメッセージがデジタル署名されている必要があります。SAML では、署名は常に必要です。SAML 証明書を検証するには、次のプロパティを設定します。

プロパティ	説明
checkFQDNValidity	true に設定すると、証明書内の完全修飾ドメイン名または共通名がチェックされます。
allowSelfSignedCertificates	true に設定すると、自己署名証明書が許可されます。
allowOnlyRootCertificates	true に設定すると、ルート証明書のみが許可されます。デフォルトは false です。 (注)　allowOnlyRootCertificates を true に設定すると、allowSelfSignedCerticates を false に設定していても、すべての自己署名証明書が許可されます。すべてのルート証明書は自己署名されているためです。
checkValidity	true に設定すると、証明書の有効期間がチェックされます。
checkMaxExpiryDays	true に設定すると、証明書の最大有効期間がチェックされます。
checkCertificateRevocation	true に設定すると、証明書内の動的証明書失効リストがチェックされます。
checkTrust	true に設定すると、信頼チェーンからの証明書が検証されます。

SAML 設定と IDP マッピングの設定

SAML の設定と、IDP の Prime Service Catalog へのマッピングの設定の詳細については、『Cisco Prime Service Catalog Administration and Operation Guide』の「*SAML Configuration* 」の項を参照してください。

SAML REST API

SAML nsAPI にアクセスできるのは、サイト管理者および SAML 設定が可能なユーザのみです。SAML の設定および IDP マッピング に対する nsAPI 認証には、SAML が有効な場合でも、RC DB を使用します。したがって、ユーザは、RC DB のクレデンシャルを使用する必要があります。

正常に送信されたオーダーの応答メッセージは 200 です。

エラー応答メッセージについては、「REST/Web サービスのエラー メッセージ」の表および「エラー メッセージ」を*参照*してください。

表 9-1　SAML REST API テーブル

領域	例
DELETE	**IDP 設定の削除** DELETE URL: http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/idp/configs/<idp configuration name> IDP 設定を削除するには、IDP の固有名を入力します。
GET	**IDP 設定の取得** GET URL: http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/idp/configs/<idp configuration name> IDP 設定を取得するには、IDP の固有名を入力します。
PUT	**ノードのメタデータの更新** PUT URL http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/idp/refreshThis

表 9-1　SAML REST API テーブル（続き）

領域	例

POST	**IDP 設定の保存**
	POST URL:
	http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/idp/configs
	入力例:
	{
	"name": "ssocirclef631a5967b044cec94893ac700851de3",
	"metadata": "<?xml version=\"1.0\"
	encoding=\"UTF-8\"?>\r\n<md:EntityDescriptor
	\r\n\txmlns:md=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata\"
	\r\n\tentityID=\"https://auth.miniorange.com/moas\">\r\n\r\n\t<md:IDPSSODescr
	iptor \r\n\t\tWantAuthnRequestsSigned=\"true\"
	\r\n\t\tprotocolSupportEnumeration=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:protocol\">\
	r\n\r\n\t\t<md:KeyDescriptor \r\n\t\t\tuse=\"signing\">\r\n\t\t\t<ds:KeyInfo
	\r\n\t\t\t\txmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\">\r\n\t\t\t\t<ds:X
	509Data>\r\n\t\t\t\t\t<ds:X509Certificate>MIICnjCCAgegAwIBAgIJAK3CyOFtrUj
	MA0GCSqGSIb3DQEBBQUAMGgxCzAJBgNVBAYTAklOMQswCQYDVQQIDAJNSDENMAsGA1UEBwwEUFVOR
	TETMBEGA1UECgwKbWluaU9yYW5nZTETMBEGA1UECwwKbWluaU9yYW5nZTETMBEGA1UEAwwKbWluaU
	9yYW5nZTAeFw0xNTAyMTEwNDQ1NDdaFw0xODAyMTAwNDQ1NDdaMGgxCzAJBgNVBAYTAklOMQswCQY
	DVQQIDAJNSDENMAsGA1UEBwwEUFVORTETMBEGA1UECgwKbWluaU9yYW5nZTETMBEGA1UECwwKbWlu
	aU9yYW5nZTETMBEGA1UEAwwKbWluaU9yYW5nZTCBnzANBgkqhkiG9w0BAQEFAAOBjQAwgYkCgYEAx
	WMW0HNXVL4VB14PklXDo6rJlK3W4XHsxD7rBsG8e2LgbfjEjC0b
	k2/5ODuP9OvVQyHaZhMPWbS2z5S6cxCIxPfAJC5pCn9EVVoSDbz4C1Biyg9NJAUYp7oF
	8JfKByLeWCOPRb9/G8/Bq5xQRAf CH/hSSsrNEQm5h
	NnhcCAwEAAaNQME4wHQYDVR0OBBYEFFq3KKnNFb1777slDNKfn30gXcvjMB8GA1UdIwQYMBaAFFq3
	KKnNFb1777slDNKfn30gXcvjMAwGA1UdEwQFMAMBAf8wDQYJKoZIhvcNAQEFBQADgYEACP2t4JNkG
	h2ElJltQ3FSdWWHsvhGpGnpAdltdC8vW/Sf3a97IDeixr5GcQVfUfyYE nMQU0g2NJLYG1
	hb13J58eQ9NhU8PgkSsJWaskST1KTNRu
	30K3Dm8TOhZShWEvYBUzSDjcSJFUguXeoK/gx4wBuA8WEaKb9PC6xvac/4=</ds:X509Certifica
	te>\r\n\t\t\t\t</ds:X509Data>\r\n\t\t\t</ds:KeyInfo>\r\n\t\t</md:KeyDescripto
	r>\r\n\r\n\t\t<md:NameIDFormat>urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emai
	lAddress</md:NameIDFormat>\r\n\t\t<md:NameIDFormat>urn:oasis:names:tc:SAML:1.
	1:nameid-format:unspecified</md:NameIDFormat>\r\n\t\t<md:SingleSignOnService
	\r\n\t\t\tBinding=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-POST\"
	\r\n\t\t\tLocation=\"https://auth.miniorange.com/moas/idp/samlsso\"/>\r\n\t\t
	<md:SingleSignOnService
	\r\n\t\t\tBinding=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-Redirect\"
	\r\n\t\t\tLocation=\"https://auth.miniorange.com/moas/idp/samlsso\"/>\r\n\t</
	md:IDPSSODescriptor>\r\n</md:EntityDescriptor>",
	"attributesMapping": {
	"firstName": "FName",
	"lastName": "LName",
	"businessUnit": "bu",
	"localeCode": "locale",
	"costCenter": "costCenter",
	"organizationUnit": "Department",
	"login": "Email",
	"email": "Email"
	}
	}
	(注)　組織、ロケール、部門、およびコスト センターは任意です。これらのフィールドをマッピングしたくない場合は、空白の値を送信します。

表 9-1　SAML REST API テーブル(続き)

領域	例
PUT	**IDP 設定の更新** PUT URL: http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/idp/configs 入力例:

```
{
  "name": "oneloginp1",
  "metadata": "<?xml version=\"1.0\"?>\n<EntityDescriptor
xmlns=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata\"
entityID=\"https://app.onelogin.com/saml/metadata/581650\">\n
<IDPSSODescriptor xmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\"
protocolSupportEnumeration=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:protocol\">\n
<KeyDescriptor use=\"signing\">\n      <ds:KeyInfo
xmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\">\n        <ds:X509Data>\n
<ds:X509Certificate>MIIEDjCCAvagAwIBAgIUBtd7yzkKX1N8+cmROGrTbzCn8OowDQYJKoZIh
vcNAQEF\nBQAwVTELMAkGA1UEBhMCVVMxDjAMBgNVBAoMBVBTQ1FBMRUwEwYDVQQLDAxPbmVM\nb2
dpbiBJZFAxHzAdBgNVBAMMFk9uZUxvZ2luIEFjY291bnQgOTA5MzYwHhcNMTYw\nODMxMDYzMjI4W
hcNMjEwOTAxMDYzMjI4WjBVMQswCQYDVQQGEwJVUzEOMAwGA1UE\nCgwFUFNDUUExFTATBgNVBAsM
DE9uZUxvZ2luIElkUDEfMB0GA1UEAwwWT25lTG9n\naW4gQWNjb3VudCA5MDkzNjCCASIwDQYJKoZ
IhvcNAQEBBQADggEPADCCAQoCggEB\nALjcSyIa/RW7w3fh+KpdhmXsw2WSuYFJkfmZEqwHTSHGd0
n1Kv6RvYtarWEvGsVN\njVTSgfMDZ14uW2qvTpCVjf5vWNvnGnOQFFjGWgMgsnrbKFGh62kvkNxKp
pqpdC1v\nwOZucoLvlaCJR/Od3SQNfQLwDAcpmbMiHb1bZm03bKMAPO+cw6mkKl8Ov3zuKt4I\nEd
vwCIzZraRW9RUPPKXX7Y5sli3ywaxEy/69mxwaeuhMtFCk2BwYT8AJ+LMoeLXx\nIURPSobdTpqBQ
PEOmFcJ/8SaMHsr+1EP1HGxKM4bXocE0soFYH5MxPCTmedxnQ7L\nhBiSdVEGTJMGAzpejf2f85cC
AwEAAaOB1TCB0jAMBgNVHRMBAf8EAjAAMB0GA1Ud\nDgQWBBRJ1vyA3mh0H7eH+OFrrq7oyTMAYTC
BkgYDVR0jBIGKMIGHgBRJ1vyA3mh0\nH7eH+OFrrq7oyTMAYaFZpFcwVTELMAkGA1UEBhMCVVMxDj
AMBgNVBAoMBVBTQ1FB\nMRUwEwYDVQQLDAxPbmVMb2dpbiBJZFAxHzAdBgNVBAMMFk9uZUxvZ2luI
EFjY291\nbnQgOTA5MzaCFAbXe8s5Cl9TfPnJkThq028wp/DqMA4GA1UdDwEB/wQEAwIHgDAN\nBg
kqhkiG9w0BAQUFAAOCAQEAQxh4/+8Vt2oSpWmMYPf8CpbH3sQuhphhEJzkEP7y\nkZILM1tV8szt9
YFlfjUIH/usGOx/aIBEDpPj0T/UTGl4QhZyv5V+T3DhcZeOK7g3\nGJTy0w6HfWuGBY8FZTMOdGOd
RSLQUOoKehIV0iIlrZAlEyMrPIx7qGrYf1zxFqoa\nyPzNT6/AUXqujcQjZwyRBwqT6429xX74ksV
e0C8KmfEUvgPfNj+wtf+KhsCqckLX\nH/HQo6Ua4nU6vuBQLym9E0OEKAOHIYccJFqlBoREtRw/V/
J7Gk5Z0yEq7XAM9EC/\n/A3vQG0DL6eIG9Tff5Tf+G4gyXQfGCDOhjkAxTbkoW+jJg==</ds:X509
Certificate>\n        </ds:X509Data>\n      </ds:KeyInfo>\n
</KeyDescriptor>\n    <SingleLogoutService
Binding=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-Redirect\"
Location=\"https://pscqa.onelogin.com/trust/saml2/http-redirect/slo/581770\"/
>\n    \n
<NameIDFormat>urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress</NameIDF
ormat>\n    \n    <SingleSignOnService
Binding=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-Redirect\"
Location=\"https://pscqa.onelogin.com/trust/saml2/http-redirect/sso/581770\"/
>\n    <SingleSignOnService
Binding=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-POST\"
Location=\"https://pscqa.onelogin.com/trust/saml2/http-post/sso/581770\"/>\n
<SingleSignOnService Binding=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:SOAP\"
Location=\"https://pscqa.onelogin.com/trust/saml2/soap/sso/581770\"/>\n
</IDPSSODescriptor>\n  <ContactPerson contactType=\"technical\">\n
<SurName>Support</SurName>\n
<EmailAddress>support@onelogin.com</EmailAddress>\n
</ContactPerson>\n</EntityDescriptor>\n",
"attributesMapping": {
    "firstName": "FName",
    "lastName": "LName",
    "organizationUnit": "Department",
   "login": "Email",
    "email": "Email"
  }
}
```

表 9-1　SAML REST API テーブル(続き)

領域	例
GET	**SAML 設定の取得** GET URL: http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/saml/configs

PUT	**SAML 設定の更新**
	PUT URL:
	http://<ServerURL>/RequestCenter/nsapi/v1/saml/configs
	入力例:
	{
	"entityID": "75781d57-a5cd-4db2-a1d5-58407a8c7887",
	"b64Certificate":
	"MIIDsjCCApqgAwIBAgIEIXc9vjANBgkqhkiG9w0BAQsFADB5MUMwQQYDVQQDDDo3YjQwNDMwYS04
	\nODAxLTQ2NDctOTNjNy03YzNjMjVkZTBkYTQtc2Vydmljc2WNhdGFsb2dkZWZhdWx0MQ0wCwYDVQQ
	L\nDAROb25lMRQwEgYDVQQKDAtOb25lIEw9Tm9uZTENMAsGA1UEBhMETm9uZTAeFw0xNjExMDIxMz
	Uw\nNTBaFw0xNzAxMzExMzUwNTBaMHkxQzBBBgNVBAMMOjdiNDA0MzBhLTg4MDEtNDY0Ny05M2M3L
	Tdj\nM2MyNWRlMGRhNC1zZXJ2aWNlY2F0YWxvZ2RlZmF1bHQxDTALBgNVBAsMBE5vbmUxFDASBgNV
	BAoM\nC05vbmUgTD1Ob25lMQ0wCwYDVQQGEwROb25lMIIBIjANBgkqhkiG9w0BAQEFAAOCAQ8AMII
	BCgKC\nAQEAryLcEinIjhnUu9wP8H/AWn/rYA2IkcuacD6VNEzHaNCBR+k//2MNv5jsVGAxpxUkjM
	i8uIjM\nJvTvW7wVEzMGVTai6XDG48jpZSTIkftnpeZuO3iydJoSI5BOiYxn4d6VqZnEDPas1Qxrf
	iKsMqbC\nbfuWCtdOYE2Rqh8s0U6+BA2D/pXxbykfMYGa3hNbTgsvZjkfUropWTxrkNbP6mWOMbcC
	03e9ih9i\n95y3Et1APQ9uLDxcGf3Rr7h/md7k1S7pEunuJw7YSgmSDsg2gFnEnubT9SeWUvj5oT3
	/fHFElOvQ\nf8QlGKAJdRG1sP07mBSztDMlSYbtHWJfi+bYitD81wIDAQABo0IwQDAfBgNVHSMEGD
	AWgBQPOMLi\nmFPO0Ooj9Vs7UKmMdmhg3zAdBgNVHQ4EFgQUDzjC4phTztDqI/VbO1CpjHZoYN8wD
	QYJKoZIhvcN\nAQELBQADggEBAAwyRikaRzL/7ZahIonrsIxRr8QW+JRCAXJS52PRag/dGlpsxCp6
	/xD3QxJ+/EY2\n7gvO0lyBth23oKJVt3zgIH5tC+VHTdmT4Eeluv4iw4ZU0qYD/NCCEBilII68xOr
	ASbE5fiBWpn3Q\nm7le5IXK7KIFUa5VmfOuGgXap9s0AF1TelGPjjlNXmMxWJgxlu8ms7/Uoaju2H
	dFyznAyK0bdzSX\nguR2VsQiwbWTuBDKySc9hoZd4qVFTJmVTVrjbpmrAEY/xk+OCVb0T1JJBtlZQ
	EsYe6KR2xdnE6ny\nqycNHpclxVJ8yIXxeoLnJK2pmCbIcBt8v2fQPhPneBbaZOlerBg=",
	"b64PrivateKey":
	"MIIEvQIBADANBgkqhkiG9w0BAQEFAASCBKcwggSjAgEAAoIBAQCvItwSKciOGdS73A/wf8Baf+tg
	\nDYiRy5pwPpU0TMdo0IFH6T//Yw2/mOxUYDGnFSSMyLy4iMwm9O9bvBUTMwZVNqLpcMbjyOllJMi
	R\n+2el5m47eLJ0mhIjkE6JjGfh3pWpmcQM9qzVDGt+IqwypsJt+5YK105gTZGqHyzRTr4EDYP+lf
	Fv\nKR8xgZreE1tOCy9mOR9SuilZPGuQ1s/qZY4xtwLTd72KH2L3nLcS3UA9D24sPFwZ/dGvuH+Z3
	uTV\nLukS6e4nDthKCZIOyDaAWcSe5tP1J5ZS+PmhPf98cUSU69B/xCUYoAl1EbWw/TuYFLO0MyVJ
	hu0d\nYl+L5tiK0PzXAgMBAAECggEALqim4N/o4pLXLkVuqbAfWv0BhFGWtOD9gDHsJkbeSXpjNvl
	ZZ3zI\nSOdA7ynBkLX9StSgErm/ShGvQ01UgAzz/vfTZ0X4du8r3xpxpRLJhlVhwM5jHNV/R6JGij
	ax5mca\nkFi69okxeoEYkj5CiiwLWKnSS4kZBGcmC6DKm+jSjtlop+ErzcLmiBqBPlQHL/rZpp0T6
	2ojOMB/\nD8Au0IFecNIyitnTORBaOVRt1ohQXBhsrjSHQcXmP7TsDrm6H5XmE3sDfDT6UrYyvLNM
	uCNBfmrj\noE/kNnFUiQZthJWkFWoHSM1eehuUR6nsubg0q0KGrsI9ta+rof0FY51Ogr5jYQKBgQD
	44/5LT1u1\n6NLfM24dd2f6gD8cSV4VVfRLRktLogjqa8n3kTZOb/ELgLQDPotcHOQXDwDmK2OYpc
	fRG2RgGt22\nMXdLHawjWItmr2wkzhanojapdssiCU9NDb209eHOUpT82pz0Vouw9LlzV26J1++Ki
	BoyGMO5Xh+L\nKjm5aNZQHQKBgQC0I4nuCvFMvJ14gIRvVmcCcHbHREVmuSeFOKsXL8kYkYsrUvcJ
	mSkw6GnMtiSh\nfsHwFtJmakZa+QDBNUJhKuvyhfC+9vaUsPjXK20Oa5dd8eQoN9Bz9dTptjx001f
	phFiidNE4+f/1\nsKN/0YnKoBOJsEb7Zv3yzJCMPBoPHvmWgwKBgQCvTl+iCf6N7bUB88a+yIkbf1
	N0iBTVsFpG3vdQ\nCYyAGXYDg2ud6ej9ciTZGCeutMbPmwjGFo+rSDGrDsEvlBzQJJ1i8j56Evb1V
	+AzOFnqry4TRRIl\nIiuSGXiiyoHHApHgW9crnv37oRQyssWwH8GgcOcKnDjYCvzq184a00YI3QKB
	gDWqMLkdwW0e87qm\nbs3Ma7uqTXhnulUz67Ygf7fUoJAVK+SoPrg5TLApTPuTd6402QnxgpTILFW
	FwNfOSgwwgUIq7OG3\nKRZ68mcHpOGa4+k02seweQVSwy8s/y2+mH4U02LycjILKFnFWbAGeIpIzg
	lC3qKeuCDRGG7uqMTA\ncZKJAoGAcrP9/zpxLyyBm8WjmAmC0UVgpCZmBDEEQKZxqNmqP/oIYbXCK
	ClS5sQc7ybeXigyq37B\ncAuyHa+rVVl/FClnWlsgG9DmZOTjqyL7ttJSP9hJjHzlJp5dw6uVVexz
	WheZWFKbGC0obLod5522\nM+n5j+epGNK6tTRWfVERYnXthcc="
	}